

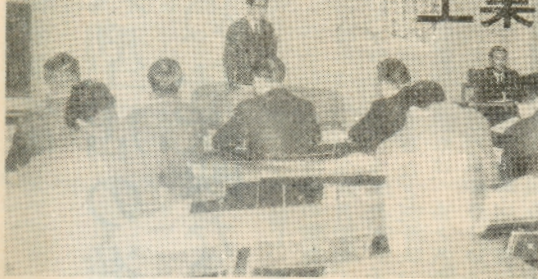
市政ニュース

昭和48年2月15日 298号
毎月 1日・15日発行 一部4円
発行所 五所川原市役所

農村 工業開発総合調査まとまる

工業開発の可能性は十分

高生産性農業が先決



出かせぎのない豊かな住みよい農村地域内陸工業開発のビジョンづくりをすすめている市では、日本工業立地センターに委託し工業開発の総合調査を行なっていました。このほどその調査結果がまとまり一月二十九日、調査結果についての報告会が行なわれました。報告は調査委員会委員の野村義信氏(共同計画事務所代表取締役)小原成介氏(日本工業立地センター研究員)が農村地域内陸工業開発のあり方などについて、要旨次のとおり報告しました。

工業開発は農業の基盤づくりから

農村地域の内陸型工業開発には、農業に対する工業面の悪い面、即ち工場排水など周辺農業に与える影響を十分考慮する必要があります。



初午は消防団にとって男の日である。装備も近代化され化学消防という言葉ももう聞きなれた昨今であるがこのまとい振りだけは。いろは四十何組江戸火消しの時代から名称が変り組織が変わったけれども今に連綿と伝えられてきた。消火より破壊が主であった江戸のむかし大屋根で振る一番まといは男の意地の見せどころ。檜舞台さながらにお見さんと大向うから声がかろうというも今日も当時の威勢そのままに二月の風にまといが躍る…

国がこれからの地域開発としてすすめている「新二十五万都市」づくりは、五所川原においても可能性については十分期待がもてる。新二十五万都市の根本理念は、そこに住んでいる人間の数ではなく、受け入れ体制としての都市機能のことである。

地域開発のポイントは、地域住民自体が開発のプランと実施の具体的な方策をもっていることであり、工業開発には都市と工業のばい煙の両面から規制して初めて効果がある。五所川原地域の特徴を考えあわせ、工業開発の基本からみるなら①開発用地としての余力がある、ということ②高速道路、空港などネットワークの整備によって将来青森県における交通の結節点となること③出かせぎが多い、ということは潜在労働力を保有している、という点で地域工業として伸びる可能性があり「地元で働く職場」を求めている要望に配慮することになる。

ただ農村地域の工業開発には労働力と食料生産の裏付けがなければならぬ。たない、という点で高生産性の近代化農業を育成し、その基盤をつくる必要がある。

地域工業開発には、農業と工業の生産を基礎に直面している過疎と過密のバランスをとり、新しい定住社会をつくらなければならない

工業誘致にはまず都市の環境づくり

工場団地をつくるから都市をつくるのではなく、まず下水道や道路などの環境を整備し「四室標準住宅」とか、市民が安心して働ける住宅と快適な環境の新しい都市づくりが先決である。このためには、地元の人々が新しい生活環境に対応する気構えが必要であり、企業、自治体も安心して働ける条件をつくってやる必要が大切である。

用地提供の協力が必要

誘致企業の業種の選定は企業の成長性はもちろんだが、持続性と全国的な広い視野からの安定性が要求される。内陸型工業の誘致要素としては、既存の企業と進出企業とが、例えば原資材を生産する工場から、その製品をつくる工場と、生産的に融合し、相互に生長できる地域型業種の選定が大切である。

52年の商業環境は

②

大型店の進出を許さぬ危険な状況へ

最近の消費者志向の変化などに対し、市商業はどのように対応し、これからの方向と改善の指針を見い出そうと県中小企業総合指導所は四十七年八月中旬、五日間にわたって市の広域商業診断を行いました。その報告会が一月十八日産経会館に商店経営者など三十人ほどが出席して行なわれました。広域商業診断は、市と五所川原商工会議所の協力で委嘱された特別診断員のトータルプランニングセンター代表取締役(中小企業診断士) 深川晃一氏と弘前大学助教吉永芳史氏があたり、報告会では市商業の問題点と今後の方向について勧告しています。

市広域商業診断結果から

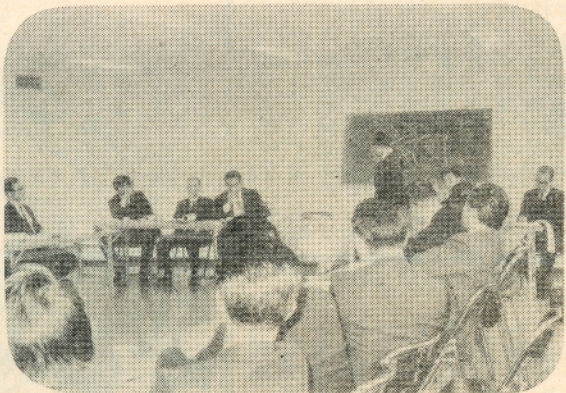
△勧告 その1▽

現在における商業力の競合関係は、も早個別の商店対商店の規模ではなく商店街と商店街、商業地域対商業地域、さらには町対町の競合関係になってきている。市の販売余力額は、昭和四十五年度で約七億一千万円であるが、すでにこの時点において各種商品小売業、繊維、衣服、身の回品小売業では約十一億円の過剰吸引(販売余力額のマイナス)をきたしている。

個々の商店街はともかく市全域でみるかぎり、いわゆる大型店の主力商品についてはマクロの目でみて、ほぼ十分な顧客吸引がおこなわれているものといえよう。しかし、その反面、これら業種における昭和五十

られる。したがって市の一般小売業者においては、競合関係がますます激化してくることの危機感をもつて認識し、そのうえで販売余力を生かすべく、これら業種の店舗の集積と、既存店舗の大型化をはかってゆくべきであろう。

その際、街区の拠点性を高める核店としての大型店ことにデパートの新設は販売余力の点から危険が伴うことと考えあわせ、拠点街区づくりは、経営者個別の力だけで達成しなければならぬ。「昭和五十二年の商業環境は、これ以上大型店の進出を許さぬ危険な状況」となる。



広域商業診断についての報告会

二年度の販売余力額はマイナス約十七億円に達するものと予測されており、これに伴っていわゆる大型店と小規模小売業者との間の競合関係が激化するものとみ

「移動農業大学」受講生を募集

県では、四十八年度の県移動農業大学の受講生を募集しています。応募できるのは十八歳から三十歳までの男子、十八歳から二十三歳までの女子(未婚者)で現在農業に従事し、将来も継続して農業に従事する者などとなっています。

修業年限は男子三カ年、女子一年ですが、受講希望者は受講願(一部) 身上調査書(二部) 同意書(女子に限る)を二月二十八日まで市農林課に提出してください。なお受講者資格、開設の時期、研修科目など詳しいことは市農林課におたずねください。応募のための諸用紙は同課にあります。

10アール以上の造林に補助

国と県および市では、財産の造成と、環境の保全に役立てるため造林の育成をすすめています。これに対する県の四十八年度造林補助金についての要綱がきまっています。補助金が受けられますのでお知らせします。

▽補助の対象樹種と活着本数(一〇アール当り)
スギ二百本以上(苗木代一本当り二〇円前後)
アカマツ、クロマツ三百本以上
カラマツ二百本以上(苗木代マツ類一本当り一〇円前後)
コバノキ二百本以上(苗木代一本当り一〇円)

▽補助対象面積
十アール以上が対象です

▽苗木について
県、市、森林組合で供給します

▽補助金の見込額
スギ十アール当り(植栽本数三百本) 一万五千元
マツ類(植栽本数三五〇本) 一万元

▽申込先
市農林課、電話⑤二二二
一番、内線二二二番、北津軽森林組合、電話⑤二五〇七番

あなたの意見を聞く集いから



△おたずね▽

新市域の道路整備計画を樹てているのか

△おこたえ▽

道路の整備計画については、これまでも年次計画により実施してきましたが、さらに昭和四十八年度から五カ年計画をたて

一級市道(三三路線)
二級市道(五三路線)
の整備に力を注ぎます。

また新市域で改良が完了した市道については計画的に昭和四十八年度から舗装をすすめます。ことしは暖冬異変により市道の破損も甚だしいので除雪の経費を敷砂利購入費にふり向け補修をすすめております。

交通事故

三割減少へ

五所川原警察管内の昨年の交通事故は、市民みんなの協力で件数、死傷者とも大巾に減少しました。このことは、車が多くなっても、みんながその気になれば事故は防げる、ということを実績で示したことになります。

ことしは、さらに最低三割減少をめざし、単にかけ声だけでなく、達成の可能な具体的な裏付けを持っています。交通事故三割減少対策としては、

- 一、歩道やガードレール街路、照明灯を増設し、見通の悪い危険な曲り角は道路管理者に早急に改善してもらう
- 二、信号機や横断歩道を多くし、速度制限などの交通規制をする
- 三、事故防止に直結する効果的な安全教育活動を実施する。このほか

▽幼稚園、保育所、老人クラブなどに計画的に安全教育活動を行なう
 △主要な幹線道路では、定期的に安全座談会、講習会を開き、安全意識を高める

▽家庭で適切な幼児教育

心の花だより

フランスに生まれ、フランスではぐくまれた小唄ジャンソンの詞に、「リラの花」がしばしばでてきますので、私たちには聞き覚えのある花です。

リラは仏名。英名ではライラックと呼ばれ、この名も広く知られています。アメリカの詩人、ホイットマンはこの花を次のように位置づけているのが、印

ができるよう、母親教室、PTAなどあらゆる機会をとらえて安全知識を普及させる

▽警察、指導隊などが協力して通学、通園路で保護誘導活動に当たるとともに、事故発生の原因となる酒酔いや暴走、無免許運転などの取締りを強化する

(五所川原市交通安全対策室、五所川原市交通安全協会、五所川原警察署)



市政ダイヤル

その日の
行事や予定は
でんわ⑤4321

象的です。

いつも帰ってくる春よ
お前は 私に 三つ揃ったものを 持ってきてくれ
永遠に咲くライラック
と 西の空に傾く星と 私

リラの花

(モクセイ科)

が愛している彼の思い出を
リラ(ライラック)はパ
ルカン半島中部からクリミ
ヤ半島を原産地とする樹高
五メートルばかりの落葉低
木ですが、花を染める色の

特別重要指名手配被疑者

「発見にご協力」
警察では二月一日から全国いっせいに犯罪を行なうて逃走している十五人を指定し探しています。この人達は再び凶悪な犯罪を行なうおそれが予想され一刻も早く発見しなければなりません。

47年度 市税完納強調期間終る

四十七年度の市税完納強調期間は、昨年十一月一日から十二月二十八日まで行なわれましたが、市民のご協力をいただき、おかげで別表のとおり、昨年度を○・〇四割上廻って終了することができました。まことにありがとうございます。なにかのつごうによって年を越された方も早めに完納されますよう、重ねてご協力をお願いします。

47年度12月末実績

(単位千円)

地区別	調定額	収納額	未納額	収納率	前年度比
五所川原	559,373	482,105	77,268	86.18	0.25
栄	33,299	29,143	4,156	87.51	△0.23
中川	26,993	26,388	605	97.75	△0.59
三好	31,248	29,636	1,612	94.84	1.18
長橋	30,836	27,144	3,692	88.02	△1.53
松島	45,487	41,310	4,177	90.81	0.21
飯詰	26,076	24,210	1,866	92.84	3.68
毘沙門	14,332	13,785	547	96.18	△0.44
七和	28,387	24,775	3,612	87.27	△1.08
梅沢	13,332	12,529	803	93.97	△0.62
計	809,363	711,025	98,338	87.85	0.04

年賀版画コンクールに入選

一中の木村さん

五所川原第一中学校一年生の木村美雪さんは、第十二回全日本年賀版画コンクール中学校、高等学校生徒の部で入選しました。

また同校一年生木村都美子さんも東北地方予選で入選しました。五所川原郵便局は近く賞状などの伝達を行なうことにしています。



あなたの意見を聞く集い 道路などに活発な意見 問題

全部で四二六件の改良など、沿線の道路問題で百四十五件の意見が述べられています。

次いで変動する農政問題を反映し、減反補助打切り後の対策や、土地基盤整備の実施計画など、農業問題(六四件)についての意見が多く出されています。ほかには消防屯所の補修や出かせぎ消防団員の確保など、消防関係(三九件)公民館の分館の整備などの教育関係(二七件)ゴミ収集などの生活環境(一六件)など身近な問題をとり上げ指摘しました。

市民参加による行政をすすめている市は、ことしも「あなたの意見を聞く集い」を一月十六日から十日間支所(地区)単位に開きましたが、全期間をとおして五百二十七人の市民が出席し、豊かな住みよいまちづくりをめざし活発な意見が述べられました。

この期間を通じて皆さんから述べられた要望や意見は全部で四百二十六件もあり、このなかで一番多いのは道路の舗装や補修、側溝

年金のまじ

いまは保険料をきちんと納めているけれど、むかし保険を免除してもらったことのある人はいませんか。

追納しましょう

保険料の免除をうけた人

いざ年金をうけるとき、その免除をうけた分だけ年金が少なくなりますから注意し一度たしかめてみてください。

国民年金では生活が苦しくて保険料を納められない人には、その間の保険料を免除する仕組がとり入れられています。その免除を

うけた分はあとでさかのぼって納めることができず。これを「追納」と言います。

この追納は十年前までさかのぼってできますが、十年を過ぎますと時効になり納められなくなります。

免除をうけたままにしておきますと、年金額が三分の一になり将来のくらしに大変困ることにもなります。

ので、生活に少しでも余裕ができましたら、期限切れにならないうちに追納し、高い年金をうけられるように

市県民税の「申告相談所」

地区	月日	曜	相談会場	時間	対象区域
飯詰中川	3・1	木	飯詰公民館	9,00~15,00	橋上、下岩崎
	3・2	金	〃	〃	橋下
	3・3	土	〃	9,00~12,00	〃
川	3・5	月	中川支所	9,00~15,00	川山
	3・6	火	〃	〃	田川、種井、中泊、桜田、沖飯詰
川	3・7	水	長富集会所	9,00~15,00	長富
	3・9	金	毘沙門小学校	〃	毘沙門
本	3・12	月	市民文化会館 第1集会室	9,00~15,00	湊団地、栄町、平和町、田町、元町、新町、寺町、岩木町、八重菊、不魚住
	3・13	火	〃	9,00~15,00	旭町、灘田、敷島町、上平井町、中平井町、下平井町、中川長橋、幾世森
庁	3・14	水	〃	9,00~15,00	鎌谷町、弥生町、東町、布屋町、大町、本町、川端町、一ツ谷、烏森
	3・15	木	〃	9,00~15,00	柏原町、錦町、幾島町、柳町、新宮町、末広町、新宮団地、中川新宮、田園調布、かすみ台

国鉄駅の小荷物 扱所が移転

国鉄五所川原駅では、小荷物取扱所を駅に向って右側の別棟に移し業務を始めております。

小荷物の受け付け、引き渡しも別棟とし、これにともなって電話番号も次のとおり変りました。事務室 小荷物取扱所⑤二三八一番、手小荷物取扱所④二三八二番 (国鉄五所川原駅)

にしてください。

最近、年金の話が高まるにつれて、いままでも免除をしているなかの多くの市民がぞくぞく追納するようになっていきます。

追納するときは、年金係に納付書がありますので銀行か郵便局に払い込んでください。

納め忘れは ありませんか

四十七年度分の国民年金保険料は納めてしまいましたでしょうか。

皆さんも、新聞、テレビなどでご存じかと思えますが今度、国民年金が大巾に改善されることになり、「

夫婦五万円年金」が実現することになります。

しかしせっかく年金が引き上げられても、保険料を納めませんと、うける年金額が低くなりますし、年金をうけられない場合もあります。

これでは、せっかくの年金も「絵にかいたモチ」になってしまいます。

将来、となり近所の方たちが高い年金をうけ、安心して生活をしているのに、自分だけが低い年金で淋しい思いをすることににならないよう、保険料は忘れずに納めてほしいものです。備えあれば憂えなし、で